ボーリング柱状図

調　査　名　一般県道宮ノ口瀬戸線外　道路災害防除事業(法面対策)業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	Boring No.2	調査位置	広島県呉市倉橋町宮ノ口			北緯	34° 3' 25"
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所			調査期間	平成 30年 5月 18日 ～ 30年 5月 22日	東経	132° 31' 33"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP= 13.36m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 37°	使用機種	試錐機	東邦D-1	ハンマー落下用具	自動落下
総掘進長	6.00m								エンジン	ヤンマーNFD12-K	ポンプ	東邦BG-2

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1	11.66	1.70	1.70		礫まじり砂	暗茶褐	中ぐらい		崖錐堆積物。 GL-1.50m付近まで草根の混入が認められる。 旧耕作土で部分的に細粒分に富む。 全般的に緩く軟質な層である。	
2	10.76	0.90	2.60		花崗岩	暗茶褐	密な		花崗閃緑岩。 上位の崖錐堆積物との境は不明瞭である。 コアは指圧にて容易に崩れ砂質土状を呈する。 岩質は土砂に相当する。	
3	9.81	0.95	3.55		花崗岩	暗茶褐			花崗閃緑岩。 コアは部分的には硬質であるが崩れやすく、礫混じり砂状を呈する。 亀裂部の一部に土砂の流入が認められる。 岩質は軟岩Iに相当する。	5/21 4.20
4										
5	7.66	2.13	5.70		花崗岩	暗茶褐			花崗閃緑岩。 コアの硬軟に差が大きく土砂状から短柱状を呈する。 薄い粘土シームをはさむ。 GL-5.0m～5.3m間は貫入岩で亀裂は発達しているが硬質である。 岩質は軟岩Iに相当する。	
6	7.36	0.30	6.00							
7					花崗岩	暗茶褐			花崗閃緑岩。 コアは硬質な短柱状を呈する。 亀裂面は茶褐色に変色している。 岩質は軟岩IIに相当する。	
8										
9										

中生代古第三紀～白亜紀

標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値 (0 10 20 30 40 50 60)
1.15	2	3	5	10／30	10
1.45					
2.15	11	13	17	41／30	41
2.45				50／0	
3.00	貫入不能				
4.00	貫入不能			50／0	
5.00	貫入不能			50／0	
6.00	貫入不能			50／0	
6.00					

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験(　)	掘進月日
		1.15	P-1	Ⓟ		5/19
		1.45				
		2.15	P-2	Ⓟ		
		2.45				5/21